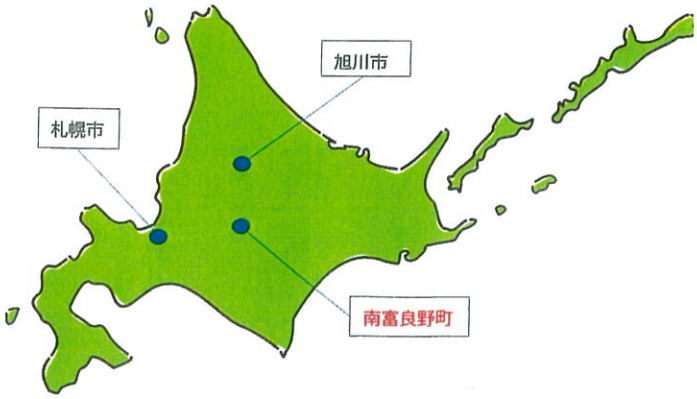
終わりなき図書館ジャーニー vol. 1



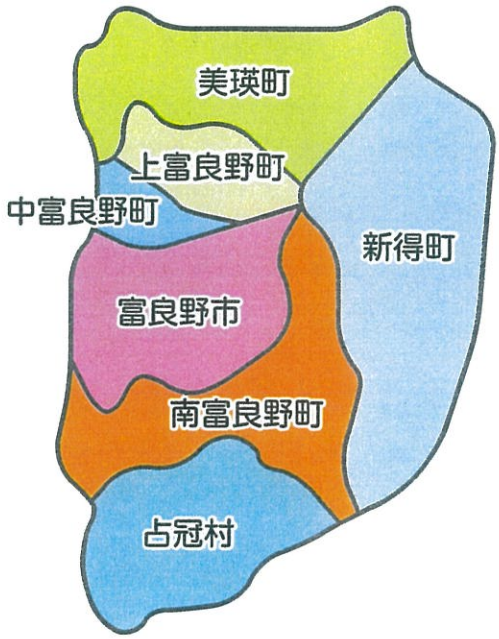
南富良野町　公民館図書室　(1/2)

旅行者にとって美瑛と富良野はパッケージで行動するでしょう。

北から美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町と5つの自治体があります。北海道へ引っ越してくるまで、富良野は1つだと思っていたので、それも「上」「中」とあって「下」がなく、突然「南」になる。この仕組みを理解できず、最近ようやく知りました。

富良野市と南富良野町公式 HP によると、1903(明治 36)年「下富良野村」としたそうです。それが「富良野町」に変わり、1966(昭和 41)年現在の「富良野市」が誕生します。

1919(大正8)年、下富良野村から南部が独立して「南富良野村」となり、「南富良野町」に発展します。南富良野町総面積の 9 割が森林地帯。人口 2023 年 12 月現在約 2300 人。



札幌から特急「おおぞら」で「新得(しんとく)」まで約 2 時間。都市間バス旭川行き「ノースライナー号」に乗り換え、道の駅南ふらので下車しました。(道の駅のナポリタンが美味かった！)「トマム」駅からバスに乗って南富良野へ行くという作戦もありますが、迂回してバスの本数が多い新得経由の方が安全！

「東鹿越(ひがししかごえ)」-「新得」間の根室本線は、2016 年の台風被害によって運休となり、代行バスを運行していましたが、本年(2024 年)3 月で富良野から新得まで廃線となりました。日高本線しかり、自然災害によってそのまま廃線になる運命、特に地方の厳しい赤字線では避けられないのでしょうか？

南富良野町には「南富良野駅」は実在しません。「幾寅(いくとら)」という駅があります。

幾寅駅にどうしても行きたい。それも雪のある季節に行きたい。

答えは、高倉健主演映画『鉄道屋(ぽっぽや)』(1999 年公開)の舞台となった幾寅駅を見たいから。映画では「幌舞(ほろまい)」駅と呼んでいます。現在も駅舎は「幌舞駅」の看板になっています。

鉄道が廃止になっても駅舎は保存するそうです。駅舎内はちょっとした映画記念館になっていて、健さんが着用した帽子やコート、出演者のサイン色紙など小さなスペースにも関わらず豪華な展示内容。滞在中、自分 1 人しかいないので、映画の PR ビデオを何度も眺めていました。志村けんさんも田中好子さんも出演していたんだなと思うと感慨深いです。

(続く)